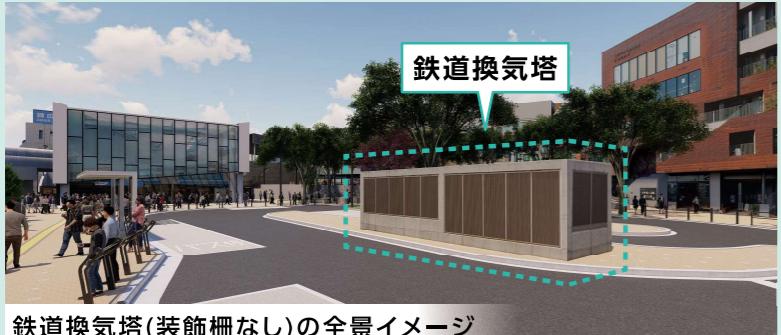


意見 募集

下北沢駅駅前広場 鉄道換気塔周りの装飾柵のデザイン

令和7年度末の駅前広場の完成に向けて、地元商店街をはじめとした方々と装飾柵のデザインなどについて意見交換・検討を進めています。



鉄道換気塔(装飾柵なし)の全景イメージ

装飾柵のデザインコンセプト

駅とまちを柔らかくつなぐ

「まちが一つになれる駅前広場空間」をめざし、駅前中央に位置する鉄道換気塔を柔らかく包み込むデザインとし、駅とまちをつなぐ。

基本 方針

- 柔らかいフォルムで鉄道換気塔を包み込むデザイン
- 駅前広場全体が一体となり、多様な表情を生み出す設え
- 今後の活用で多様な使い方が可能な設え

装飾柵のデザイン案(区HP)

上記を踏まえた装飾柵のデザイン案を区のホームページで公開しています。
ホームページ内のご意見フォーム、または、お問い合わせ先の拠点整備担当課へ、ご意見・ご感想をお寄せください。



受付期間

令和6年8月30日(金)まで

お問い合わせ先

【本通信及び北沢デザイン会議について】

北沢総合支所街づくり課

TEL 03-5478-8073 FAX 03-5478-8019

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18
北沢タウンホール 11階

【小田急線上部利用施設等の整備について】

北沢総合支所拠点整備担当課

TEL 03-5478-8012 FAX 03-5478-8019

世田谷区のホームページでも

小田急線上部利用の情報を公開しています。

世田谷区 小田急線上部利用の街づくり

(区HP)

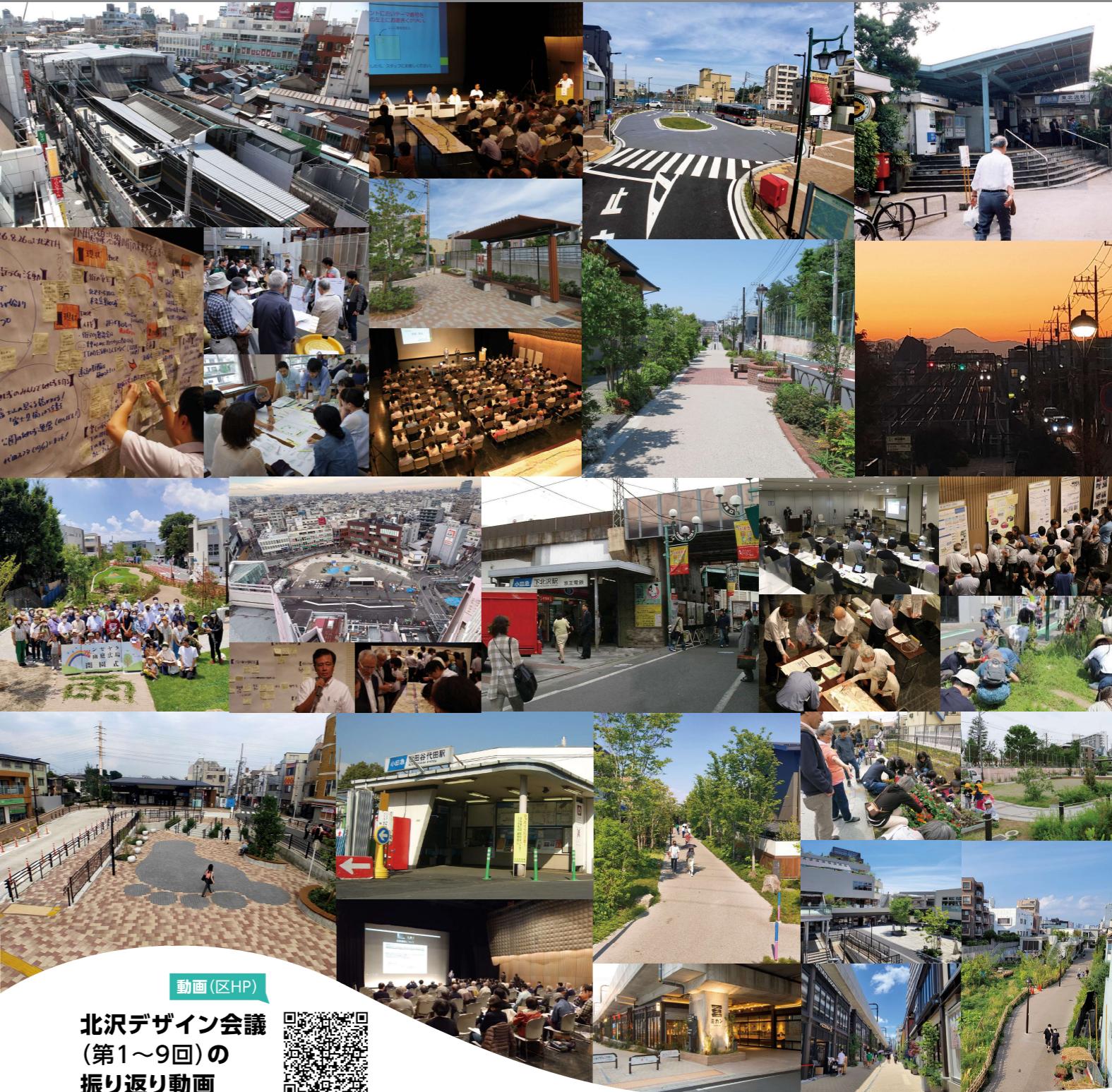


北沢デザイン通信

～思いつながる、人つながる、街つながる～

第10号

令和6年7月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課



動画(区HP)

北沢デザイン会議
(第1~9回)の
振り返り動画



(音声コード)



世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線(代々木上原駅ー梅ヶ丘駅間)沿線のまちづくりの情報をお知らせしています。本号では、令和6年3月に開催した第10回北沢デザイン会議の内容などについてご報告します。

北沢デザイン会議

～小田急線沿線の街の未来を考える～

開催概要

日 時 2024年3月2日(土)

場 所 北沢タウンホール2階ホール及びオンライン開催

参加者 107名(ホール、オンライン合計)

プログラム

01 あいさつ

[詳細はP3をご覧ください。](#)

02 上部利用施設の取組紹介

[詳細はP4～5をご覧ください。](#)

03 下北沢駅周辺の取組紹介

-1 駐車場地域ルールの検討

[詳細はP4～5をご覧ください。](#)

-2 下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会の取組紹介

[詳細はP6～7をご覧ください。](#)

04 デザインアドバイザーより

[詳細はP3をご覧ください。](#)

05 意見交換

[詳細はP5、P7をご覧ください。](#)

全ての内容は区のHP(P12最下部参照)でご覧いただけます。

北沢デザイン会議の様子



当日の会場



参加者からの意見紹介



投稿ワードの説明

01 あいさつ

これまでの小田急線連続立体交差事業を振り返ると、事業をめぐり厳しい対立がありました。しかし、下北沢駅周辺の問題を良い方向に展開するため、小田急電鉄と協力し、地下化した線路上部をひとつながりの空間として整備していくことに取り組んできました。

その中で、1.7kmの線路跡地の空間を親子連れや高齢者など様々な方がゆっくり歩ける場にしたいと考えました。

小田急線上部利用の施設整備においては、ワークショップやシンポジウムなどを重ねてきた結果として、区の計画を変更したり、小田急電鉄に下北沢駅南西口前の広場を整備していただいたりと、住民参加で話し合って変わったところがいくつもあります。

街は区民のものであるため、公共性をもち、様々なユーザーの観点を踏まえて、施設整備を行ってきました。施設整備は終盤に差し迫っていますが、このタイミングが一番重要であるため、活発な議論をお願いしたいと思います。



04 デザインアドバイザーより

これまでの10年間の取り組みは主に3期に分かれていると思います。

1期目 保坂区長当選(2011年)から北沢デザイン会議が開催(2014年)されるまでの期間

2期目 北沢デザインガイドを策定(2015年)し、デザイン調整(～2019年)を行った期間

3期目 小田急線上部施設が完成し、マネジメントの時代に入った期間

通常の街づくりは、行政が一定の道筋を立てて進めていく「予定調和型」の街づくりですが、小田急線上部利用の街づくりに関しては、「結果調和型」であり、新しいモデルであります。これは多くの対話をってきた結果であって、世田谷区職員や関係者の熱意・想いが組み合わさってできたものだと思います。

今後の街づくりに向けて、3点お伝えします。

・ウォーカブルな街づくり

歩きたくなる街、偶然の出会いがある街として、グランドレベルで楽しい街を意識して街づくりを進めてほしい。

・災害に強い街

東日本大震災のような突発的な災害時に、多くの帰宅困難者がいることが想定されるため、災害時に地域や個人を孤立させない街をつくってほしい。

・デジタルツールを活用した街づくり

東日本大震災以降、スマートフォンが一層普及し、社会のデジタルツールが変化した。デジタルツールをうまく使った街づくり、エリアマネジメントを考えてほしい。



世田谷区長
保坂 展人



東京大学大学院
新領域創成科学研究科教授
出口 敦

02 上部利用施設の取組紹介



鉄道換気塔周りの装飾柵の検討

下北沢駅周辺都市計画道路(補助第54号線及び世区街第10号線)整備ワークショップ提案書(平成28年2月)で提案いただいたいる鉄道換気塔周りの修景等を踏まえ、装飾柵の検討状況を報告しました。

整備イメージ

まちの玄関にふさわしい景観及び施設デザインの駅前広場

主な意見

- ・鉄道換気塔は可能な限り小さく圧迫感のないもの
- ・まちのシンボルとなる形状やデザインに配慮
- ・他の機能で利活用できるような工夫

まちの玄関にふさわしい景観及び施設デザインとして、鉄道換気塔周りの装飾柵を検討しています。また、地域の方々と将来の利活用を見据えたデザイン検討を継続しています。

詳細は裏表紙(P8)をご覧ください。

03 (1) 下北沢駅周辺の取組紹介(駐車場地域ルールの検討)

下北沢駅周辺では、“歩行者が主体の安全・快適で、回遊性のある魅力的な商業空間の形成”を地区計画の目標に掲げ、街づくりを進めています。

上部通路の完成により3駅間の歩行者の回遊性は高まりましたが、下北沢駅周辺に目を向けると、依然として狭い道路に路上荷捌きや駐輪が多い状況です。

来街者も増加している中、駅周辺の歩行者の安全性、回遊性を高めるため、東京都駐車場条例による「駐車場地域ルール」の活用の検討を開始しました。

地区の課題

01

道が狭い



02

路上荷捌き



03

路上駐輪

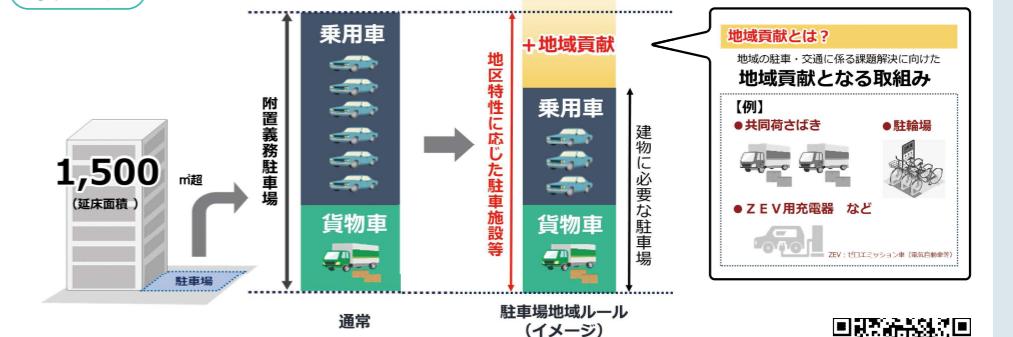


駐車場地域ルールとは

一定規模以上の建築物を建てる際には、駐車場条例の基準に基づき、床面積等に応じた駐車場(附置義務駐車場)を設ける必要があります。

駐車場地域ルールは、地域の駐車・交通課題を踏まえ、地区特性に応じた駐車施設設置のルールを定めることができます。

イメージ



検討状況や駐車実態調査結果等は、区のホームページでご覧いただけます。

下北沢駅周辺地区の街づくり



03-2 下北沢駅周辺の取組紹介 (下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会)

下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会より、まちの課題(ごみ問題、治安悪化、地域活動の継承)の解決や、にぎわい創出といったまちの魅力向上をめざして、準備協議会で検討している下北沢駅周辺の未来ビジョン(素案)についてお話をいただきました。

エリアマネジメントの必要性

[まちづくりの組織化による持続性の確保] [まちに関わる全ての人にとってのまちの魅力の向上]

商店街、町会・自治会、地域の活動団体等が行ってきた、まちの魅力向上させるイベントや清掃・防犯に代表される地域活動などを継続していくためには、担い手不足への対応が必要です。

そのため、活動を持続・発展させていくための組織化が必要だと考えます。



組織化による持続性の確保

会場の皆さんに聞いてみました!

シモキタの
まちの魅力を
教えてください。



下北沢駅周辺
エリアマネジメント
準備協議会会長
柏 雅康氏

ミカン下北 ファッション
飲食店 外国人観光客
演劇 芸術
寛容 緑 路地
歩いて楽しい 楽しめるまち
高い建物がない 黄色
新しい情報発信 回遊
出会い 若者
アクセス ごちゃごちゃ
小さい店 サブカルチャー
カレー 歩行者中心
住みやすさ 便利

※投票数の多いワードが大きく表現されるようにイメージ化しています。

票数	投票内容
15	多様
13	路地、ごちゃごちゃ
12	歩行者中心
11	歩いて楽しい
9	外国人観光客
8	カレー
5	緑、演劇、街歩き
4	寛容、楽しめるまち、便利、小さい店、飲食店
3	にぎわい、イベント、芸術、古着、若者、カフェ、出会い、買い物、黄色、ミカン下北、迷路のような道、高い建物がない
2	音楽、回遊、商店街、下北沢駅、UD、密度、アクセス、まちピアノ、空が広い、ライブハウス、住みやすさ、新しい情報発信、ファッション、サブカルチャー

将来像

歩いて 楽しい 快適なまち シモキタ

目標 01 歩けぬまち

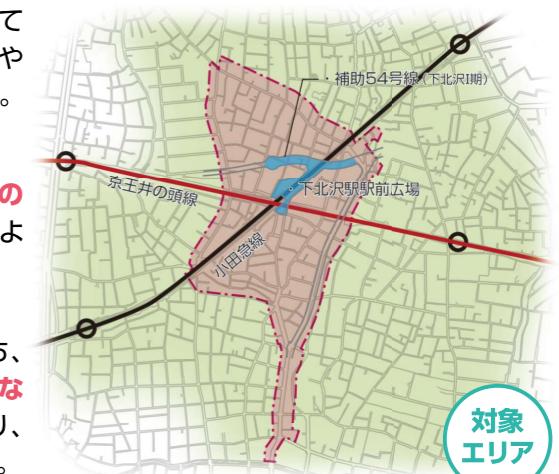
人(歩行者)が中心となって生まれる心地よい路地や商店の魅力を活かします。

目標 02 楽しいまち

独自に進化を続ける他のまちにないおもちゃ箱のような楽しさを活かします。

目標 03 快適なまち

公共空間をきれいに保ち、誰にとっても安心で安全な環境を整えることにより、快適なまちをめざします。



目標 01 歩けぬまち + 目標 02 楽しいまち

「まちの価値創出事業」

- 広報活動の推進
- 路地文化の魅力を深める活動
- まちのブランド力を生かした商品開発やネーミングライツなど

目標 02 楽しいまち + 目標 03 快適なまち

「公共空間活用事業」

- 公共空間を活気ある賑わいの場として活用し、多様な体験の創出
- 広告掲出、イベントの収益化など

目標 03 快適なまち

「快適性向上事業」

- まちの環境美化、安心安全の確保などの活動
- ごみ箱を設置し、広告掲出など

これまでと
今後の
取組み

未来ビジョン
素案

課題共有

R4

準備
協議会
設立

R6

R5

組織化を目指す

05 意見交換 Q&A

Q 周辺住民や来街者の声も活かしたまちづくりの計画を進めていくことは、とても大切な視点だと思います。打合せの段階から、広く多くの声を集めたい工夫をお願いします。

A 下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会では、町会・商店街・地元企業などの団体が参画しています。北沢デザイン会議の他、今後予定しているオープンハウスや報告会などの機会で、住民や来街者、まちづくり活動団体等の多くの方のご意見をいただき、未来ビジョンや今後の事業に活かしていきます。